

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 05 08	中期総合計画主要施策番号	3-08	担当課	部・課	建設部河川課	
事業名	河川調査事業				内線	3438	
					E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	不明 ~	根拠法令等	河川法				
実施方法	直接実施・委託					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	洪水による被害を軽減し、県民が安全で安心して生活できるよう、ハード対策とソフト対策が一体となった減災対策を推進するため、必要な基礎調査や基礎資料の収集を行う。				
	対象	一級河川				
	目指すべき姿	ハードとソフトが一体となった減災対策を推進するための河川計画の立案				
	事業内容	水文調査(水位観測、流量観測)、気象調査(雨量観測) 水辺の国勢調査などの基礎調査や基礎資料の収集 河川整備計画策定に向け、調査や河川法に基づく手続き				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・委託料3,075千円(河川整備計画策定に係る調査業務)
	最終予算額 (A)		千円	4,779	5,489	4,491	
	決算額 (B)		千円	2,329	5,156		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	
	概算人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00	
	概算人件費 (C)		千円	8,317	8,258	8,258	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	10,646	13,414	12,749		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 ÷ 整備計画策定数
	河川整備計画策定(活)	箇所	3	3	4	
	水文観測、気象観測(活)	箇所	0	0	0	
	水辺の国勢調査(活)	箇所	0	0	0	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 整備計画策定あたりコスト		3,549	4,471	3,187	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	伊那圏域河川整備計画の策定 松本圏域河川整備計画(黒沢川)の策定 北信圏域河川整備計画の策定			伊那圏域河川整備計画を策定した。 松本圏域河川整備計画(黒沢川)を策定した。 北信圏域河川整備計画策定のため、関係機関との協議を進めた。			b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 県民の生命、財産を守り、洪水による被害を最小限に抑える減災対策のための河川整備の資料を作成する事業であり、必要性は高い。 県管理河川の調査、計画は、河川法で県が行うこととなっている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	期待通りの成果が得られているが、県内には河川整備が必要な河川が多くあり、県民のニーズも高いことから今後も継続的な調査の実施が必要である。				
	特記事項					